平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	環境情報学特別研究			授業コード	M521608
担当教員名	濵永　康仁			科目ナンバリングコード	R40403
配当学年	1・2	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	10		
履修上の注意または履修条件	社会に貢献できる人材となるために知識や技術だけではなく、人間性も含めた社会性を身に着けることを特別研究を通した目的とする。				
受講心得	室内だけではなく、時には外に出て情報を収集することもあるため、どのような課題が来ても対応できるように心身の準備をすることを心得てもらいたい。				
教科書	随時資料を作成する。				
参考文献及び指定図書	修士論文に関わる文献。				
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ　環境情報学特別演習Ⅱ				

授業の目的	情報の収集・整理・分析方法を身に着けることを目的とする。
授業の概要	様々な情報を集め、整理し、解析するだけではなく、解析結果をどのように社会に生かすかという理論の構築方法を学ぶ。そのため、実験や調査および社会における様々な立場の人間と会い、その思考やそれぞれが抱える課題について検討する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 2 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 3 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 4 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 5 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 6 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 7 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第 8 週 ： 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	

第 9 週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第10週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第11週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第12週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第13週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第14週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第15週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	
第16週 : 修士論文作成 修士論文作成に必要な実験・研究・文献調査を行う。	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	宿題、授業における発表の準備を毎回欠かすことなくできる。 積極的に発言できる。
【知識・理解】	取り組む研究の背景、位置づけ、目的を理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	分かりやすい資料作成や発表ができる。
【思考・判断・創造】	目的を達成するような実験を実現できる。 必要に応じて研究内容を微調整できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等(テスト)**	**レポート・作品等(提出物)**	**発表・その他(無形成果)**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**15点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**10点**	**15点**	

【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	15点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	15点

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	
発表・その他 （無形成果）	